



## 春の学生ブックツアー

図書館では、毎年5月と11月に学生ブックツアーを行っています。ブックツアーとは、学生が図書館で所蔵してほしい本を書店で選ぶイベントで、春季は8名の学生選書委員が本を選びました。

### 【選書抜粋】

- ◇ 人間力を高める読書案内
- ◇ 世界のふしぎな色の名前
- ◇ ソードアート・オンライン プロGRESSブ〈2〉
- ◇ 恋と推し活とショッピングに学ぶ 知識ゼロからの女子株
- ◇ はじめての
- ◇ 毎日がうまくいく！働く女子の わたしらしく「書く」習慣
- ◇ ラブカは静かに弓を持つ
- ◇ 京都寺町三条のホームズ



## 企画展示

### 関東大震災から100年

～千葉で起きた災害を忘れない～

今年には1923年に起こった関東大震災から100年に当たります。今回の企画展では、関東大震災・東日本大震災をはじめ、千葉県で起きた災害を中心に各種資料で紹介し、さらに今後の防災に役立つ情報も含めた展示を行っています。



- 開催期間 2023年6月8日(木)～9月1日(金)
  - 開催場所 千葉経済大学総合図書館2階閲覧室
  - 開館日 図書館開館カレンダー
- (<https://www.cku.ac.jp/lib/>)

## 先生が選んだおすすめの1冊

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン著

(ビジネスライフ学科 西川 篤志 教授)

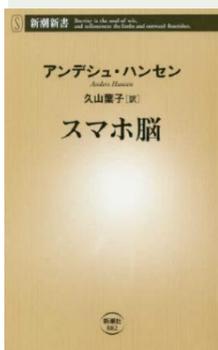
最近話題になっていること、学生さんに興味を持ってもらえそうな本の中から一冊を紹介したい。

著者は、スウェーデンの精神科医のアンデシュ・ハンセン氏で、インターネットやスマートフォンの出現が現代の我々の生活にどのような影響を与えているのか、それに対して我々はどうに対応すべきかについて、人類の進化から説き起こして、脳科学の知見をもとに考察したものである。

最近の調査では二十代の人の一日のスマホの利用時間は三時間に及ぶという。なぜスマホが手元にないと落ち着かないのか、メールや交流サイトを始終気にするのか。それは我々の祖先が外敵から身を守るためにいつも周囲を警戒し、新しい情報を欲してきたことに由来するという。今でもそのような脳を持っている我々は、新しい情報を終始提供してくれるスマホに取りつかれ依存することになってしまおうということである。スマホや携帯情報機器の開発者はこのような依存症の危険性に関心がつき、自身の利用時間を厳しく制限したり子供に触らせなかったりというエピソードも登場する。

さてスマホの過度の利用で気が散ったり、眠れなくなったり、ストレスを感じたりしたらどうしたらよいか。適度な運動が集中力を高め、ストレスへの耐性がつき、記憶力も強化されるということである。

スマホの操作に忙しいそのあなた！巻末にまとめられた「デジタル時代のアドバイス」だけでも読むと、思いあたることがあるはずだ。心して道具は使いたいものである



# 学生が選んだおすすめの一冊

『ソードアート・オンラインプログレッシブ2』

川原礫 著

(経済学科 三年 小田切健生)

ラノベ好きが紹介するこの小説『ソードアート・オンライン プログレッシブ2』は、小説「ソードアート・オンライン」シリーズのスピノフ作品であり、原作者川原礫によって執筆された作品です。本作は、原作では詳しく書かれていないソードアート・オンラインの一層ごとの階層の話が一冊にまとめられています。

この『プログレッシブ2』は、第三層の話であり、ソードアート・オンラインという世界の本来の姿を感じる小説だと思えますので、ぜひ読んでいただくと幸いです。また、この本を最初に読まれるのも良いですが、この作品は原作以外に『プログレッシブ2』という名前の通り一巻がありますので、その作品を先に読まれるのも良いと思います。あるいは本に慣れていない方は、アニメもしくは二年前に公開された映画の「ソードアート・オンライン プログレッシブ 星なき夜のエリア」を先に見ると、この小説の世界観を感じることができると思います。それにより、ゲームなのに現実の世界という小説の世界観を感じられると思います。この意味が気になりましたら、是非この小説を図書館で手に取って借りてみてください。



『認知症世界の歩き方 実践編』

寛裕介、Issue+design 著

(ビジネスライフ学科 二年 石井まどか)

皆さんは「認知症」についてどれだけ知っていますか？

私が紹介するのは、『認知症世界の歩き方 実践編』です。

この本は、認知症世界を体験するために、「ミステリーバス」に乗り込むところから始まります。このバスに乗り込んでしばらくすると、記憶をほとんど失い、行き先が分からなくなります。そして、認知症についての基礎知識を学び、認知症の人はどう思っているのか、私たちが介護する側だったらどう行動を起こすのかというアイデアを考えながら、旅をするのです。

人間にとって「老い」は逃れられないものです。いつ親や自分が認知症になるのか、介護する立場になったらどうしていくべきなのかを考えられる本だと思います。

著作者の寛裕介さんは、広告会社で仕事をしていました。仕事に面白さは感じていたものの社会に残る仕事かと思っていました。そして、仕事で訪れたニューヨークでテロ事件に遭遇し、その混乱の中で過ごすうちに日本や社会が抱える課題に興味を持ち大学で研究を始め、課題解決のための「デザイン」の可能性を感じたそうです。

この方は、現在「Issue+design」の代表をしています。他にも本を出されているので是非興味のある方は見てください。



## NEW 図書館サービスについて

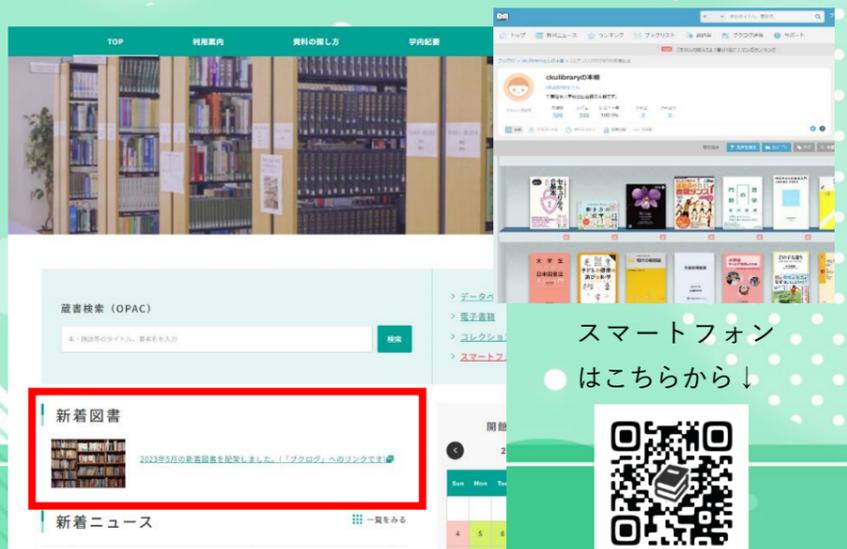
### 朝日新聞クロスサーチ

データベース「朝日新聞クロスサーチ」が新しく利用できるようになりました。朝日新聞の1985年から今日までの記事のほか、週刊朝日・AERA・現代用語事典(知恵蔵)等を収録したデータベースです。学内のPCよりアクセスできます。

※同時アクセス数2なのでご利用後はログアウトをお願いします。

### ブクログ

図書館HPがリニューアルし「ブクログ」サービスを新たに始めました。月ごとの新着図書の一覧を見ることが出来るようになっていきますので、ぜひご覧ください。



#### 国内サイト (学生・教職員専用)

日経テレコン ※終了時は必ずログアウトしてください  
日経四紙記事、会社情報、人事情報ほか  
令和5年4月1日より、同時アクセス数が下記のように変わります。  
4月20日(木)~7月19日(水) および10月2日(月)~12月1日(金)は同時アクセス無制限  
※上記以外の期間は、同時アクセス数2になります。

TKCローライブラリー ※同時アクセス2 ※終了時は必ずログアウトしてください  
判例収録数32万超のLEX/DBインターネットや、新・判例解説Watch、  
公判判例データベース他5コンテンツが利用可能な法律情報データベースです。

スマートフォン  
はこちらから↓

